



# 2026年3月期 決算補足説明資料

2026年5月15日

# I. 決算サマリー 2026年3月期実績

前期比48.3%増収、57.7%営業増益と大幅伸長。期初予想も大幅に上回る着地。売上高および各利益段階でも過去最高。中期経営計画を一年前倒しで達成。増配も継続

- 2026年3月期は、売上高は前期比48.3%増の10,226百万円、営業利益は同57.7%増の1,069百万円、経常利益は同59.4%増の1,054百万円、当期純利益は同55.3%増の658百万円と大幅増収増益となった
- 小学校・中学校においては、GIGAスクール構想の第2期（2024年度～2028年度）の整備が2025年度に全国で本格的に実施され想定以上の需要が顕在化。高校・大学においても、各校がDX推進を主体的に環境整備を進めたことに加え、ユーザーニーズを捉えた通信ネットワーク機器や各種サービス等の展開が奏功し業績拡大に拍車をかけた
- 一株あたり普通配当金15円に上場10周年記念配当金3円を加えて、18円に増配（2025年3月期12円）、配当性向は20.4%。

(百万円)	2025年3月期 (連結)	2026年3月期 (連結)	対前期 増減額	対前期 増減率	2026年3月期 (連結) 期初予想	期初予想に 対する 増減率
売上高	6,896	10,226	+3,329	+48.3%	10,000	+2.3%
営業利益	677	1,069	+391	+57.7%	750	+42.6%
経常利益	661	1,054	+392	+59.4%	750	+40.6%
純利益	423	658	+234	+55.3%	490	+55.3%

# I. 決算サマリー 2026年3月期実績－セグメント別

- 小学校・中学校部門はGIGAスクール第2期の整備が本格化したことに加え、デジタル教科書本格導入を控えてエッジキャッシュ機能を追加した通信ネットワーク機器「Tbridge」や各種クラウド系サービス等の展開が奏功
- 高等学校・大学部門は、高精細映像配信機器「S600-OP」、総合ID管理システム「ExtraConsole」の導入増及び大型インフラ構築案件等が貢献。運用・保守・監視を担うサービスデスク含め、包括的なサービス提供も拡大。
- 企業・官公庁部門は前期に新規にグループインしたトラストコミュニケーション、オキジムのフル寄与等により大幅増収。

(百万円)		2025年3月期 (連結)	2026年3月期 (連結)	対前期 増減額	対前期 増減率	要因
小中	売上	2,033	3,230	+1,196	+58.8%	GIGAスクール第2期の整備が本格化し、無線通信可視化・安定化ソリューション「Tbridge」、「InterCLASS Cloud Advance」などのクラウドサービスが増収増益に寄与。学びと校務のDXを支援ツール「らくらく授業ツール」「らくらく先生ツール」も一定期間の収益として業績に寄与。
	利益	319	482	+163	+51.2%	
高大	売上	2,492	3,053	+561	+22.5%	高等学校において、高精細映像配信機器「S600-OP」需要増。統合ID管理システム「ExtraConsole」の導入及び構築案件が継続して増収に寄与。東京都内の大規模私立大学及び九州エリアの大学における大型システムリプレイス案件が増収増益に寄与。サービスデスクの導入校数増加。
	利益	238	382	+144	+60.6%	
企業・官公庁 ※	売上	2,370	3,941	+1,571	+66.3%	トラスト コミュニケーション（前期第2四半期より連結）、オキジム（前期第4四半期より連結）により増収
	利益	120	203	+83	+69.3%	

※従来『その他』の区分としていた報告セグメントの名称を『企業・官公庁部門』に変更しております。セグメント名称のみの変更であるため、セグメント情報に与える影響はありません。

# I. 決算サマリー 2026年3月期実績－貸借対照表

- 資産は 1,584百万円増加（主要因は現預金の増加454百万円、売掛金の増加702百万円）
- 負債は 2,047百万円増加（主要因は契約負債の増加853百万円、買掛金の増加669百万円）  
 契約負債は今後一定期間にわたり計上される収益として寄与
- 純資産は463百万円減少（主要因は利益剰余金の増加267百万円、非支配株式持分減少743百万円（オキジム完全子会社に伴う））

(百万円)	2025年3月期 (連結)	構成比	2026年3月期 (連結)	構成比	対前期 増減額	対前期 増減率
流動資産	6,222	58.6%	7,401	60.7%	+1,179	+19.0%
固定資産	4,392	41.4%	4,796	39.3%	+404	+9.2%
(投資その他の資産)	1,421	13.4%	2,139	17.5%	+718	+50.5%
<b>資産合計</b>	<b>10,614</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,198</b>	<b>100.0%</b>	<b>+1,584</b>	<b>+14.9%</b>
流動負債	4,202	39.6%	6,092	49.9%	+1,890	+45.0%
固定負債	2,571	24.2%	2,728	22.4%	+156	+6.1%
負債合計	6,773	63.8%	8,820	72.3%	+2,047	+30.2%
純資産	3,841	36.2%	3,377	27.7%	△463	△12.1%
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,614</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,198</b>	<b>100.0%</b>	<b>+1,584</b>	<b>+14.9%</b>

# I. 決算サマリー 2027年3月期予想

次なる飛躍への「基盤拡充期」。前期に想定超であったGIGAスクール構想の反動減や進路事業売却の影響が出る中でも、今後に向けた攻めの投資を加速。21.8%減収、53.2%営業減益の計画ながら、中長期での業績拡大を視野に入れ、株主還元強化は継続。一株配当金は23円に増配、配当性向は43%

- 2027年3月期は、売上高は前期比21.8%減の8,000百万円、営業利益は同53.2%減の500百万円、経常利益は同57.3%減の450百万円、当期純利益は同39.2%減の400百万円と減収減益を予想。
- しかし、2026年3月期からの2ヶ年平均で見れば中期経営計画に沿った利益進捗。採用強化、体制整備、待遇改善、新製品投入など、将来の高成長に向けた事業基盤の「選択と集中」を実施。
- 経営理念を変更、支援対象を「授業」から「先生の仕事・学校運営そのもの」へと拡張。教育専門メーカーとしてワンストップで幅広いソリューション提供を目指す。
- 引き続き2027年3月期計画を上回る利益水準を実現できるよう各種経営施策に取り組む。
- 一株あたり配当金は23円に増配予定（2026年3月期実績18円（普通配当15円+記念配当3円））、配当性向は43.0%。

(百万円)	2026年3月期 (連結)	2027年3月期 (連結) 業績予想	対前期 増減額	対前期 増減率	2026年3月期と 2027年3月期の平均値
売上高	10,226	8,000	△2,226	△21.8%	9,113
営業利益	1,069	500	△569	△53.2%	784
経常利益	1,054	450	△604	△57.3%	752
純利益	658	400	△258	△39.2%	529

(ご参考)  
2026年3月期と  
2027年3月期予想  
の平均値でみると  
概ね中期経営計画  
に沿った利益進捗

	施策
<p><b>小中</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポストGIGAスクール第2期の新製品として、公用スマホツールや週案自動作成ツールを含む学校DXソリューション「TeachGear」シリーズを発表。</li> <li>• ネットワーク機器の遠隔での死活監視機能を追加した「Tbridge T-Manager」新モデルとともに、現場の負担を劇的に軽減する仕組み。</li> </ul>
<p><b>高大</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 進路事業売却による売上減少はあるものの、引き続き各校のDX推進が収益拡大に寄与する見込み。</li> <li>• 語学演習システム「CaLabo」シリーズに生成AIを組み込んだ効率的な学習実現に向けた製品開発等を推進。</li> <li>• 大手Sierと連携した大学等のシステム構築・保守、運用管理プロジェクトの中で、サーバー、ネットワークの運用・保守を24時間365日体制で実施する事業も開始し事業が大きく拡大方向。</li> <li>• 株式会社ジンジブとのビジネス協業を開始。GLEXAを活用したOEM提供、私立高校や通信制高校向け製品販売連携、株式会社ジンジブのシステム開発に関する連携について協業を深化させ、伸ばしていく。</li> </ul>
<p><b>企業・官公庁</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トラストコミュニケーション、オキジムの買収後のシナジー効果に加え、企業や病院・介護施設向けLMS拡販、ネットワーク遠隔監視、クラウド型日本語学習教材（ABLish日本へGO!）販売等により収益拡大を計画。</li> </ul>

## II. 中期経営計画

- 中期経営計画の最終年度目標値は、足元の状況を踏まえて2027年3月期業績予想の数字に変更するが、引き続き2027年3月期業績予想を上回る利益水準を実現できるよう各種経営施策に取り組む。次期中期経営計画は2027年5月頃に発表予定

### 基本方針

創業当初の経営理念やベンチャー精神を基盤とし、  
国策に基いた「教育現場で求められる製品」を企画開発し、活用まで支援する。  
当社製品・サービスの国内外での販売を通して、全てのステークホルダーに貢献する

### 数値計画

	2024年3月期 (実績)	中期計画1年目 2025年3月期 (実績)	中期計画2年目 2026年3月期 (実績)	中期計画最終年度 2027年3月期 (目標)
売上高	46.2億円	68.9億円	102.2億円	80億円以上
経常利益	6.6億円	6.6億円	10.5億円	4.5億円以上
当期純利益	3.4億円	4.2億円	6.5億円	4.0億円以上
PER (株価収益率)	13.5倍	12.7倍	7.1倍	20倍以上

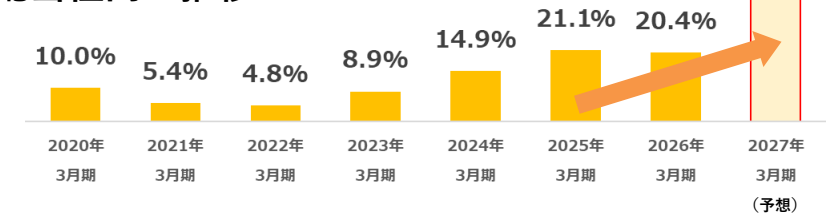
### III. 株主還元

- 中長期の成長への確信を持ちつつ、株主の皆様との長期的な信頼関係を築く。
- 株主の皆様に対して今後長期にわたり安定した配当を行うことを基本方針としつつ、中長期的な利益成長による配当額の増加を目指して取り組む。
- 各種指標を定量的に提示し、株主還元方針を明確化する

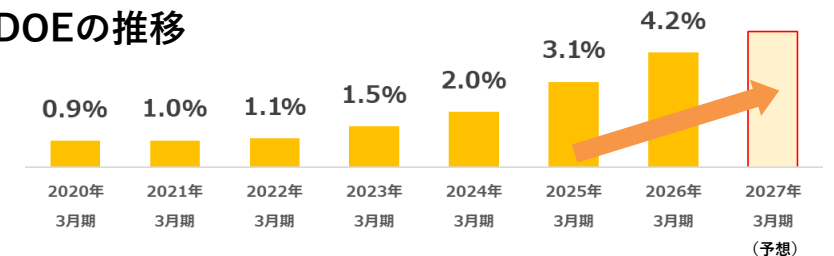
進捗	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2026年3月期に配当予想の修正を行い、<b>前期実績12円に対し、当期期末配当を18円への増配（うち記念配3円）を実施し、DOE（株主資本配当率）を4.2%へ引き上げ。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>2027年3月期期末配当は23円を予想（従来の中期経営計画の当期利益が確保できていた場合の配当性向30%程度に相当）。</b></li> <li>● 2027年3月期にDOE（株主資本配当率）4%程度の範囲内で、連結配当性向30%程度が実現することを念頭に、毎年の配当額を決定する方針としているが、株主還元を重視し2027年3月期はDOE5%程度、配当性向43%を計画</li> <li>● 自己株式取得は利益水準等を勘案し、柔軟かつ機動的な実施を検討。</li> </ul>

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 目標
配当性向	<b>14.9%</b>	<b>21.1%</b>	<b>20.4%</b>	<b>30%程度</b>
DOE	<b>2.0%</b>	<b>3.1%</b>	<b>4.2%</b>	<b>4%程度</b>
ROE	<b>13.4%</b>	<b>14.7%</b>	<b>20.4%</b>	<b>13%以上 を継続</b>
PER	<b>13.5倍</b>	<b>12.7倍</b>	<b>7.1倍</b>	<b>20倍以上</b>

配当性向の推移



DOEの推移



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- Google for Education、Chromebook 及び Google Classroom は Google LLC の商標です。その他、記載されている会社名及び商品名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下『勧誘行為』という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

# Chieru

## チエル株式会社

本資料ならびにIR関係の お問い合わせにつきましては、  
下記までお願いいたします。

### チエル株式会社 IR担当

TEL: 03-6712-9721

FAX: 03-6712-9461

[www.chieru.co.jp](http://www.chieru.co.jp)

